



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 キムラタン

コード番号 8107 URL <http://www.kimuratan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 浅川 岳彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 木村 裕輔

TEL 078-306-0801

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	975	15.1	△34	—	△42	—	△46	—
23年3月期第1四半期	847	—	△72	—	△74	—	△88	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △46百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △89百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△0.06	—
23年3月期第1四半期	△0.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	1,608	1,002	62.3	1.27
23年3月期	1,776	1,048	59.0	1.33

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,002百万円 23年3月期 1,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,100	4.3	△20	—	△30	—	△40	—	△0.05
通期	4,600	3.9	60	8.7	40	18.1	20	725.8	0.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	790,093,101 株	23年3月期	790,093,101 株
24年3月期1Q	82,262 株	23年3月期	82,112 株
24年3月期1Q	790,010,951 株	23年3月期1Q	790,012,851 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる情報及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
24年3月期第1四半期	975	△34	△42	△46
23年3月期第1四半期	847	△72	△74	△88
増減率	15.1%	—	—	—

当第1四半期（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災による被害と電力不足の影響や、海外諸国の財政状況等に起因する円高など、未だ本格的な回復の軌道に乗ったとは言い難い状況にあります。

このような状況下で、当社は、当第1四半期に直接的に消費者に向き合う「リテール」事業と、得意先に卸販売する「ホールセール」事業とに既存の業態を統合し、ブランド・組織・人員を2分する組織改編を行いました。両事業の収益構造の確立を目指して、それぞれの顧客から求められる製品とサービス、オペレーションを明確にし、専門化、運営力向上に取り組んでまいりました。

消費者と直接向き合うリテール事業は、既存のショップ業態に百貨店ショップ及びNET業態を包含し、サービスの質を高めながら、客数の増加を目指してまいりました。得意先に卸販売するホールセール事業では、得意先数の拡大に向けたWEB受注システムの充実と「価値が価格を上回る」商品開発に取り組んでまいりました。

売上高は前年同期比15.1%増の9億75百万円となりました。リテール事業では、既存店の好調な推移に加え、前第2四半期以降の新規出店による店舗数の増加により売上増となりました。ホールセール事業では、既存ブランドの販売増に加え、バリュープライス企画商品の受注が大きく拡大したことにより大幅な増収となりました。

利益面では、売上増に伴い売上総利益は前年同期比13.5%増となりましたが、販売費及び一般管理費は3.7%増にとどまったことにより、営業損失は34百万円（前年同期に対し38百万円改善）となり、経常損失は42百万円（前年同期に対し32百万円の改善）となりました。四半期純損失は46百万円（前年同期に対し42百万円の改善）となり、いずれも計画どおりに推移しました。

リテール事業

売上高は、前年同期比4.4%増の7億円となりました。

ショップ業態では、エリアマネージャー体制や販売員教育など、これまでに取り組んできた施策によるオペレーション力向上に一層努めてまいりました。その結果、既存店ベースの売上高は4.0%増と好調な推移となりました。また、前期に6店舗、当第1四半期に1店舗の閉店がありましたが、一方で前期に11店舗、当第1四半期に3店舗の新規店舗を開設したことにより、店舗数は前年同四半期末と比較して7店舗増の141店舗となりました。その結果、ショップ業態の全店ベースの売上高は、前年同期比6.0%増の6億11百万円となりました。なお、震災の影響により、前期末において5店舗が休業しておりましたが、4月以降順次営業を再開し、5月末までに全店が営業再開することができました。

今春より新規にスタートしました「f a s」ブランドのショップは、本年4月に2店舗オープンし、7店舗の展開となり、売上高は24百万円となりました。

NET業態の売上高は前年同期比26.8%増の59百万円となりました。アクセス客数は減少したものの、お客様のニーズに対応したサイトづくりに努めた結果、購買客数、客単価ともに増加し増収となりました。

以上の結果、リテール事業全体の売上高は前年同期比4.4%増の7億円となり、セグメント利益（営業利益）は50百万円となりました。

ホールセール事業

売上高は前年同期比56.7%増の2億75百万円となりました。既存ブランドの取扱い高が増加したことに加え、バ

リユープライス企画の受注が大幅に増加したことにより、GMS（総合スーパー）、専門店ともに大幅な増収となりました。セグメント損益については、例年、第1四半期は利益確保が困難な状況にありますが、収益拡大に努めた結果、5百万円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増減
総資産（百万円）	1,776	1,608	△168
純資産（百万円）	1,048	1,002	△46
自己資本比率（%）	59.0	62.3	—
1株当たり純資産（円）	1.33	1.27	△0.06
借入金残高（百万円）	154	207	53

総資産は前連結会計年度末と比較して1億68百万円減少し、16億8百万円となりました。主な減少は受取手形及び売掛金1億89百万円であります。

負債は前連結会計年度末と比較して1億22百万円減少し、6億6百万円となりました。主な減少は支払手形及び買掛金1億43百万円であります。

純資産は前連結会計年度末と比較して46百万円減少し、10億2百万円となりました。これは四半期純損失によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の59.0%から62.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、概ね計画どおりに推移しており、前回予想（平成23年5月13日公表）を修正しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	107	126
受取手形及び売掛金	695	505
商品及び製品	733	755
仕掛品	7	6
原材料及び貯蔵品	36	31
その他	33	27
貸倒引当金	△17	△15
流動資産合計	1,597	1,436
固定資産		
有形固定資産	80	78
無形固定資産	27	24
投資その他の資産		
破産更生債権等	445	440
その他	37	38
貸倒引当金	△411	△410
投資その他の資産合計	71	68
固定資産合計	179	171
資産合計	1,776	1,608
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	368	224
短期借入金	108	168
1年内返済予定の長期借入金	46	39
未払金	95	78
未払法人税等	8	2
返品調整引当金	14	9
ポイント引当金	3	3
その他	80	76
流動負債合計	725	603
固定負債		
資産除去債務	3	3
固定負債合計	3	3
負債合計	728	606
純資産の部		
株主資本		
資本金	903	903
資本剰余金	221	221
利益剰余金	△72	△118
自己株式	△4	△4
株主資本合計	1,048	1,002
純資産合計	1,048	1,002
負債純資産合計	1,776	1,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	847	975
売上原価	434	507
売上総利益	412	468
返品調整引当金戻入額	5	14
返品調整引当金繰入額	1	9
差引売上総利益	416	472
販売費及び一般管理費	489	507
営業損失(△)	△72	△34
営業外収益		
受取配当金	0	—
その他	0	0
営業外収益合計	0	0
営業外費用		
支払利息	2	2
その他	0	5
営業外費用合計	2	8
経常損失(△)	△74	△42
特別利益		
投資有価証券割当益	4	—
貸倒引当金戻入額	2	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18	—
訴訟関連損失	—	0
その他	0	0
特別損失合計	18	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△86	△44
法人税、住民税及び事業税	1	1
法人税等合計	1	1
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△88	△46
四半期純損失(△)	△88	△46

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△88	△46
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	—
その他の包括利益合計	△0	—
四半期包括利益	△89	△46
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△89	△46
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社及び連結子会社は、主としてベビー衣料・子供服の販売を行っておりますが、全セグメントの売上高の合計営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める前掲のアパレル事業の割合が、いずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	リテール 事業	ホールセール 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	700	275	975	—	975
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	700	275	975	—	975
セグメント利益又は損失 (△)	50	△5	44	△78	△34

(注) 1 セグメント利益の調整額△78は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成23年4月1日付で組織変更を行っております。これに伴い、新たな社内業績管理体制を構築したため、業績評価についても変更を行い、当第1四半期累計期間より「リテール事業」と「ホールセール事業」の2つの報告セグメントといたしました。

なお、当該組織変更を反映した前第1四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報は、当該情報を作成することが困難であるため、当四半期連結累計期間について、前連結会計年度の区分方法により区分した情報を作成しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

	報告セグメント	その他	四半期連結損益 計算書計上額
	アパレル 事業		
売上高			
外部顧客への売上高	975	—	975
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	975	—	975
セグメント利益又は損失 (△)	△34	—	△34

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。